

理工学研究科

教育プログラムの名称：理学専攻

授与する学位の名称：修士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（理学専攻・博士前期課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「修士」の学位を授与します。

- (1) 自然科学の発展に貢献しようとする意欲と高い倫理観を身に付けている。
- (2) 研究の背景と意義を説明するための専門的知識および技能を体系的に修得している。
- (3) 研究成果を論文にまとめるための表現力と構成力を身に付けている。
- (4) 研究成果のプレゼンテーションや質疑応答を的確に行うことができる。
- (5) 課題解決に必要な国際的原著論文などの情報収集を自ら適切に行い、その内容を理解・整理できる。
- (6) 研究成果を得るための最適な手法を自ら組み立てながら研究を遂行していく能力を身に付けている。
- (7) 分野で異なる論理や方法論に関する理解を深め、イノベーションにつながる発想ができる。
- (8) 指導教員とのディスカッションによって、新規領域開拓に向けた研究を実行できる。
- (9) 理系プロフェッショナルとして実践的な課題解決に取り組むことができる。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院理工学研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、理学専攻（博士前期課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

- (1) 知的財産、法令順守、研究倫理、情報セキュリティ、安全衛生管理を学ぶ講義とキャリア教育を通してキャリアパスを形成し職業意識を深める演習科目を配置する。
- (2) 国際性や国際化に対応した英語のコミュニケーション能力を養う講義を配置する。

- (3) 学際領域のトピックスをテーマとし、理工系人材に対して分野にかかわらず共通に求められる基盤的な素養、幅広い 知識、多元的な視点・思考法を身に付ける講義を配置する。
- (4) 研究テーマに合わせて関連する分野の科目を履修させるため、高度な専門知識を身に付ける講義を配置する。
- (5) 特定の研究テーマに基づき、研究の内容・結果・解析法等を確認しながら、修士論文の作成に向けて適切な助言・指導を行う。
- (6) 文献講読に基づく討議・発表を行い、プレゼンテーション能力を身に付ける演習を配置する。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

博士前期課程では、専門とする分野の深い知識と技能とともに、幅広い理学の知識を兼ね備え、異なる分野の知識や研究成果を総合して新たな理論や技術を生み出す人材を養成し、科学技術の社会的利用において不可欠となる情報セキュリティ、知的財産、法令順守、安全衛生管理に関する確かな理解を持ち、優れた社会性と倫理性を備えて、科学技術の発展に貢献する人材を育てることを目標としています。

博士前期課程の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- ・ 理学的な基礎学力を有し、自然の真理の探究に強い意欲を持てる人
- ・ 急速な社会の変化と科学技術革新に対応する意欲を持つ人
- ・ 研究、技術開発、教育等によって社会に貢献することを目指す人

◆入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（口述試験及び面接、志望理由書、TOEIC® TEST 成績証明書及び出身大学から提出された成績証明書の結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（口述試験及び面接、志望理由書、出身大学から提出された成績証明書の結果、研究計画書（研究希望調書）及び業績報告書を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（口述試験及び面接、志望理由書、出身大学から提出された成績証明書の結果を総合して判定）

- (4) 推薦入試（口述試験及び面接、自己推薦書、志望理由書、TOEIC® TEST 成績証明書及び出身大学から提出された成績証明書の結果を総合して判定）